

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** です！
京都市議員

発行：2020年3月15日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



フクシマを忘れない…国は復興に最後まで責任を

被災者に思いを寄せて 醍醐キャンドルに参加しました



3月7日に恒例のだいごキャンドルが行われました。今年は新型コロナの心配や学校が休校になっている事態の中で、実施が中止かで役員さんの中でかなりの議論があったようです。また、天気予報では午後から雨模様との報道もあり、心配されていました。何か月も前から準備を重ねられてきた方々のご苦勞を思えば、実施してよかったですと思いました。

東日本大震災が起こった時刻に合わせて、準備の手を止めて黙とうが行われ、西野市議も参加をしました。キャンドルのコップには子どもたちの可愛い願いや、高齢者の方の健康や平和への思いなどが詰まっています。夜には、醍醐の街明かりの中に、地域住民の皆さんの思いを照らす文字がくつきりと浮かび上がり、感動を呼びました。



市民のみなさんの願い実現へ市議会で徹底論戦!!

局月質疑で西野市議が取り上げた質疑

▶職員削減による市職員への影響については、市長は12年間で3401人の職員削減を行ってきました。更に来年度は205人の削減を計画しています。そんな中で、昨年4月1日から今年2月1日の間の新たな休職者が67人。中でも精神系の病休者が54人にも上っています。それ以外でも消防局で精神系病休者が5人です。職員のストレスの大きさを感じます。これ以上の職員削減をやめ、増員こそ必要だと質しました。

▶パートナーシップ制度創設について、他都市では制度の創設が広がっています。同性の事実婚カップルにも異性婚と同様の法的な権利を認める東京高裁判決を

例に、京都市は遅れている。すぐにでも制度を創設すべきと求めました。ただ、制度をつくって終わりではない。夫婦別姓を認めない日本の法律がありますから、法改正まで市民の認知度の向上に努めることが必要だと質しました。



▶伏見区の国有地活用への予算について、京都拘置所と京都運輸支局の国有地を、京都の活性化の為に使おうと、京都市が勝手に周辺の調査や市民意見募集をしています。国は移転する気はありません。そのために1374万円もの予算を費やすことは許せない。他に使うべきだと質しました。



新型コロナウイルス対策で第2次申し入れ

日本共産党市議員団は、既に2月10日に医療衛生センター、健康安全課の体制を拡充し、検査体制についても必要な体制を確保すること等10項目での第1次申し入れをしています。

その後状況の変化が著しくなり、2月26日、議員団は「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置しました。そして3月5日に議員団全員で第2次申し入れをしました。

学校の一斉休業の事態を受けて、児童生徒の環境や保護者、事業者への就業保障、国民健康保険の一部負担や国保料の減免制度の緩和、保育所・幼稚園、学童保育などへの対策や市施設利用料の返却やキャンセル料を求めないこと等、きめ細かな申し入れをしました。また、局別質疑の中でも、各局にわたって申し入れの内容での質疑をしています。

申し入れの全文については、議員団のホームページもしくは議員にお問い合わせください。